

西約1kmにある素戔鳴神社(伊丹市鴻池)に立ち寄ったところ、数頭(翅の破損状態の視認による推定)の♂が飛び回っているのに遭遇した。この神社の境内には高さ10mを超えるクスノキ、アラガシ、シイ、ヒノキなどが多数、繁茂し、その間に蝶道が形成されており、ナガサキアゲハのほかクロアゲハが目撃された。記録のためナガサキアゲハ1♂を採集したが、かなり破損していた。この境内にはナツミカン数本が栽植されており、クロアゲハが産卵していた。ナガサキアゲハの発生を確認できることを楽しみにして5月15日、同21日および同29日に同神社を訪れたが、♀の飛来と産卵行為および幼虫は目撃できず、同29日には♂の姿が消えてしまった。夏型が発生するものと推定される7月10日頃より毎週土曜日または日曜日には同神社を訪れたが、夏型は♂♀共目撃できなかった。同神社において春型♂を多数目撃できたのは偶然のことであったかも知れないが、ナガサキアゲハは阪神間にほぼ定着したと見られており、伊丹市内でもどこかで発生しているものと推定される。同神社近辺で発生を確認できることを楽しみにしている。

## 西宮市内におけるチビサクラコガネの採集記録

新 家 勝

本誌第11巻第1号の「神戸産珍奇なコガネムシ数種の記録」によれば、チビサクラコガネおよびオオサカスジコガネの兵庫県下での採集記録は少ないようであるが、筆者の長男の標本中にチビサクラまたはオオサカスジとおぼしきコガネムシ2頭があったので、1983年8月28日に神戸大丸で開かれた神戸生物クラブの同定会に持参し、高橋寿郎氏に同定していただいた。その結果、チビサクラコガネと判明したので報告させていただく。

- (1) 採 集 日        1975. 6. 21
- (2) 採 集 場 所        西宮市樋ノ口町1丁目、国道171号線下の地下道燈火。
- (3) 採 集 頭 数        2 頭
- (4) 採 集 者        新家邦紹